

## 流行性感冒（H1N1）2009 インフルエンザ対策 Panvex® ワクチン接種

Panvex® H1N1 ワクチンは、過去40年間製造している季節型インフルエンザと同じプロセスで CSL（コモンウェルス・シーラム・ラボラトリー社）が製造しています。

然しながら、通常の三つのタイプのインフルエンザに対応する季節型インフルエンザ用ワクチンとは異なり Panvex® H1N1 ワクチンは、ただひとつの流行性感冒（H1N1）2009のみを対象としています。このワクチンの成分は「死んだウイルスの断片」だけであり、「生きたウイルス」は含みません。

### なぜ接種が必要か。

通常このインフルエンザが起こす副作用は軽いのですが、人によって重篤な合併症の原因となったり希に死亡に至る場合もあります。オーストラリア政府は流行性感冒罹患の場合に重篤な症状を発症する危険度が高い人々や、予防を希望する人々を、Panvex® H1N1 ワクチンで感染から守ろうとするものです。

### 予防効果が現れるまでに要する期間は？ 予防効果が続く期間は？

ワクチン接種してから効果がでるまでに要する期間は人により異なります。一般に抗体ができて防御作用が働きだすには2週間かかります。効力はほとんどの人に次の冬まで持続し、少なくとも1年間有効です。

ワクチンは接種を受けたすべての人に効果があるとは限らないことを知っておいて頂くことが重要です。

また、このワクチンは流行性感冒（H1N1）2009 ウイルスにのみ効果があることを銘記してください。このワクチンの接種を受けていても、季節型インフルエンザに感染することはあり得ます。季節型インフルエンザの予防接種を、普段受けておられるならば、同じように接種を受けておくべきです。

### Panvex® H1N1 ワクチンの接種を受けるべきでない場合は？

若し下記にあてはまるなら Panvex® H1N1 ワクチン（或いは他のワクチン）の接種を避けてください。

- 過去に種類を問わずインフルエンザワクチンでアナフィラクシス\*があった。
- ワクチンに含まれるどのような成分に起因する場合でもアナフィラクシスがあった。（抗生物質ネオマイシン、ポリミキシンを含む）
- 10歳未満
- 鶏卵への強いアレルギーがある。鶏卵を食べたあとで、唇や舌の腫れ、急性呼吸困難、ひきつけなどを起こしたことがある。  
鶏卵への強いアレルギーの既往がある場合は、Panvex<sup>®</sup>H1N1 ワクチン接種の功罪について接種担当の医療従事者に相談してください。

\* アナフィラクシスとは抗原抗体反応に基づく生体反応で全身性の激しい症状を伴う。 血圧急降下 じんましん (亜恵健診)

### ほかの薬剤を使用している場合の相互作用について

薬剤によってはこのインフルエンザワクチンに相互作用を及ぼします。またワクチンが通常服用している薬剤に作用を及ぼすこともあり得ます。薬剤を服用している場合は、医療従事者に前もって何らかの注意が必要か相談してください。

### 副作用

ワクチンの成人に対する臨床試験では、安全性が確認されています。今後も、安全性の確認と検証作業は継続されます。今後、安全性に関して異なる事象の報告があれば調査を実施します。小児の臨床試験は、まだ終わっていませんが、試験の報告は2009年末に判明する予定です。

季節型インフルエンザでもそうであるように、ワクチン接種後に軽い副作用を示す人がいます。最も多いのは、接種部位に多少の腫れ、発赤、痛みがでるなどです。これは短い時間内に落ち着きます。

このほか、接種後数時間内に疲労感、頭痛、筋肉痛、発熱が出ることがあります。これらは、自宅での休息や水分補給、発熱や不快症状には鎮痛剤の服用を、接種部位に発赤あるいは腫れがでた場合は冷やします。熱が下がらないようなら医師に相談してください。

ごく希に、100万件に1件あるいはそれ以下の割合で発生し、試験でも見つからない副作用が起こることがあり得ます。インフルエンザワクチンとギランバレー症候群（GBS）との因果関係の可能性が海外で報告されています。ギランバレー症候群の発症は、まれで神経系の障害の麻痺を起こすことがあります。然しながら、このワクチンを含むどのワクチンとの間の因果関係は確定していません。インフルエンザに感染の後にGBSに罹る確率は、ワクチン接種時に比べ4-7倍であることが証明されています。

- \* ギラン・バレー症候群（-しょうこうぐん、Guillain-Barré syndrome）とは、急性・多発性の根神経炎の一つで、主に筋肉を動かす運動神経が障害され、四肢に力が入らなくなる病気。重症の場合、中枢神経障害性の呼吸不全を来し、この場合には一時的に気管切開や人工呼吸器を要するが、予後はそれほど悪くない。日本では特定疾患に認定された指定難病。出典ウィキペディア（Wikipedia）

副作用発症のため心配なときは医師に相談してください。重症と判断した場合救急車を呼ぶなり、病院の救急部門へ直接おいで下さい。

副作用の報告がオンラインでできます。 [www.tga.gov.au](http://www.tga.gov.au)

電話 Pandemic ホットライン 180 2007

小瓶（バイアル瓶）に詰められているワクチンは、少量の水銀成分を含むシオマーサル “thiomersal” と呼ばれ、ワクチン内に細菌が発生することを防ぐための品質保持剤を含みます。シオマーサルには、長年の安全性記録があり、水銀分量はご心配にあたるものではありません。

### アレルギー反応

アレルギー反応は非常に希ですが、起きた場合人によっては重い場合があります。それらは主に鶏卵のたんぱく質アレルギーに起因します。このため鶏卵にアレルギーがある場合には Panvex<sup>®</sup>H1N1 ワクチンの接種を避けてください。

### 優先接種の対象者

この流行性感冒が、妊婦、基礎疾患\*（持病）がある人、感染により重い症状を起こす可能性の高い原住民（アボリジニー）などに及ぼす危険が特に懸念されています。ワクチンはインフルエンザの流行に対してぜい弱な人々を守るためにも特に必要です。

オーストラリア原住民 （この部分 訳出なし）

### 妊婦

妊婦はワクチンの接種を受けてください。妊婦は一般のひとびとよりも流行性感冒（H1N1）2009 インフルエンザに感染しやすく、妊婦と胎児の両方が危険に晒される恐れがあります。感染した妊婦には、流産、早産や死亡などが起きる場合があります。

接種を受けることで、母子ともに保護されます。インフルエンザワクチンは妊娠期間中の使用でも安全であり、妊婦には普通接種を受けることが薦められています。

Panvex<sup>®</sup>H1N1 ワクチンは、(ウイルスが) “生きていない” タイプですから、胎児に危険はありません。

医療及び介護などの従事者 (この部分 訳出なし)

## 小児

現時点では、10歳未満の小児への Panvex<sup>®</sup>H1N1 ワクチンの接種は承認されていません。臨床治験が未だ終わっていませんが、その結果は2009年末までには判明する予定です。より詳細については [www.healthemergency.gov.au](http://www.healthemergency.gov.au)

或いは電話 Pandemic ホットライン 180 2007

-----

\* 日本国厚生労働省が提示した優先接種対象者とする9分類の基礎疾患

1. 慢性呼吸器疾患 (ぜんそくなど)
2. 慢性心疾患
3. 慢性腎疾患 (透析患者含む)
4. 肝硬変
5. 神経疾患・神経筋疾患 (免疫異常や呼吸障害など)
6. 血液疾患
7. 糖尿病
8. 疾患や治療に伴う免疫抑制状態 (がん患者など)
9. 脳性まひなど小児の疾患 (亜恵健診調べ)